

WE'RE FOR CREATORS™

2022年12月期 第1四半期
決算補足説明資料

2022年5月13日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

需要は堅調ながら半導体不足による販売数量減少により、前年同期比で減収減益

2022年第1四半期連結業績

売上高	:	2,795百万円	(前年同期比	▲33百万円)
営業利益	:	▲87百万円	(前年同期比	▲433百万円)
経常利益	:	▲57百万円	(前年同期比	▲388百万円)

- 半導体調達難による製品供給不足により販売数量は大きく減少
- フックアップの決算日変更により同社の6ヶ月分（2021年10月～2022年3月）の損益を取込み売上は微減にとどまるが、同社の販管費等も6か月分取込んだことにより、営業利益及び経常利益は前年度同期比で大幅減（※前1Qはフックアップの損益は未連結）

■ 1Q ■ 年間

(百万円)



2022年12月期 第1四半期 連結損益計算書（要約）

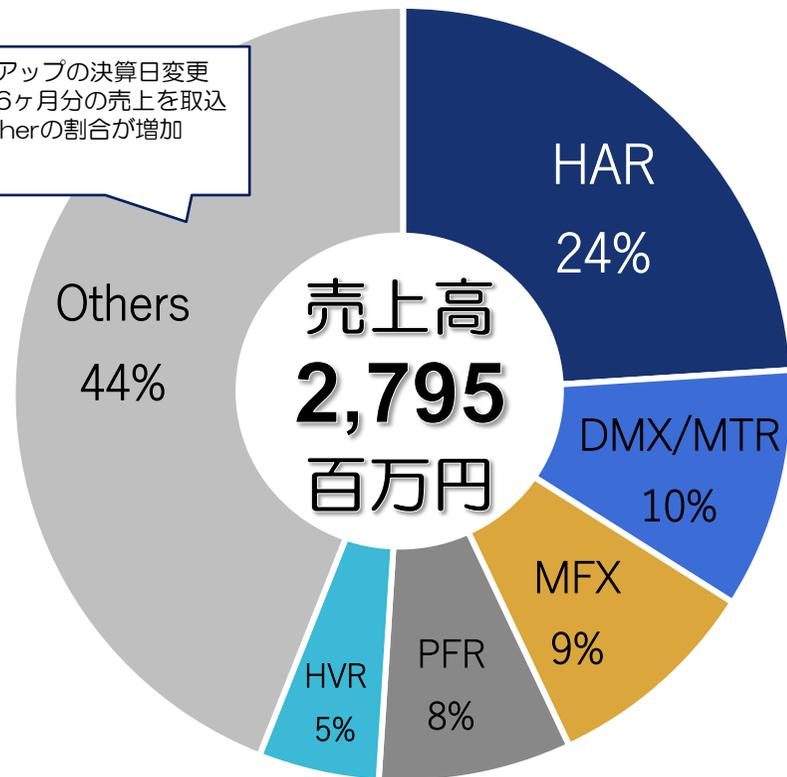


（百万円）

	2021.12期 第1Q実績	2022.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	2,829	2,795	▲33	<ul style="list-style-type: none"> 当社製品への需要は堅調ながらも、世界的な半導体不足による販売数量の減少 フックアップの決算日変更により6ヶ月分（2021年10月～2022年3月）の損益を取込み、売上は微減
売上総利益 （売上総利益率）	1,248 (44.1%)	1,032 (36.9%)	▲216	<ul style="list-style-type: none"> 売上総利益率の高い北米のシェアが減少した一方、同利益率が相対的に低いフックアップの売上シェア増加
営業利益 （売上高営業利益率）	346 (12.2%)	▲87 (▲3.1%)	▲433	<ul style="list-style-type: none"> 上記に加え、フックアップの損益計算書を前2Qから連結したことにより、販管費が前年同期比で増加
経常利益 （売上高経常利益率）	331 (11.7%)	▲57 (▲2.0%)	▲388	<ul style="list-style-type: none"> 円安により為替差益を26百万円計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 （売上高四半期純利益率）	201 (7.1%)	▲60 (▲2.2%)	▲261	
EBITDA	446	15	▲430	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※99 264 ▲3	※102 230 26	2 ▲33 29	※のれん償却額47百万円（前年同期44百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	105.8円	116.2円	+10.4円	

製品カテゴリー別売上高

フックアップの決算日変更により6ヶ月分の売上を取込み、Otherの割合が増加



カテゴリー名称

HAR : Handy Audio Recorder

DMX/MTR : Digital Mixer/Multi Track Recorder

MFX : Multi Effector

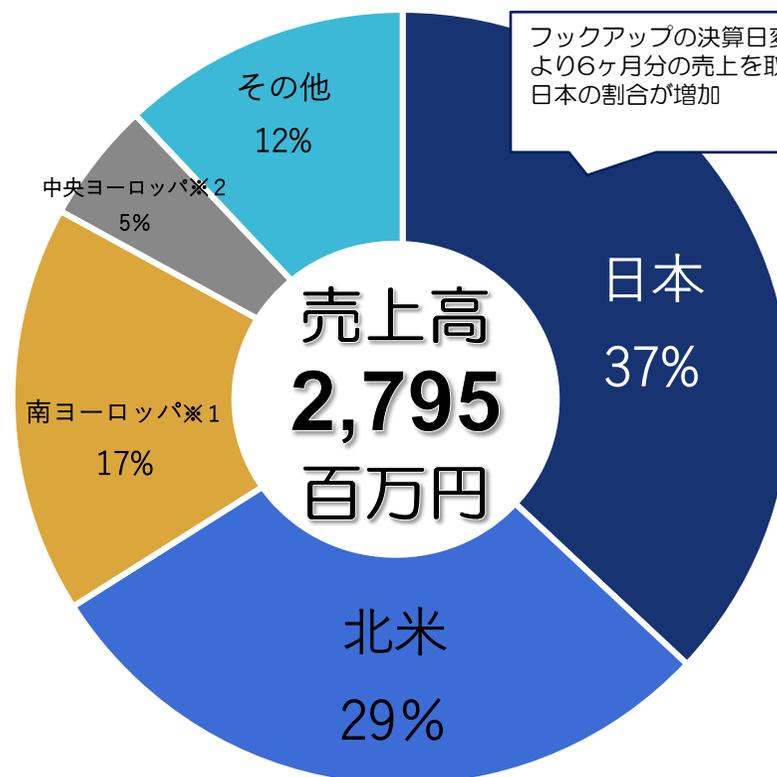
PFR : Professional Field Recorder

HVR : Handy Video Recorder

Other : その他、Mogar取り扱いブランド、フックアップ取扱いブランド

地域別売上高

フックアップの決算日変更により6ヶ月分の売上を取込み、日本の割合が増加



※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

半導体調達難による製品供給不足により一部のカテゴリーを除き売上減少

(百万円)

	2020.12期 1Q実績[シェア]	2021.12期 1Q実績[シェア]	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	1,203 [43%]	678 [24%]	▲525	<ul style="list-style-type: none"> ・中欧及び中国の販売代理店の在庫調整による出荷の減少 ・一部製品について半導体調達難により製品の供給が不足
デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	540 [19%]	285 [10%]	▲255	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてLシリーズの半導体調達難により製品の供給が不足
マルチエフェクター (MFX)	288 [10%]	246 [9%]	▲42	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてG1Fourシリーズの半導体調達難により製品の供給が不足
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	179 [6%]	232 [8%]	53	<ul style="list-style-type: none"> ・F2/F2-BT、F3及びF8n Proの新製品効果 ・なお、一部製品については半導体調達難により製品の供給が不足
ハンディビデオレコーダー (HVR)	188 [7%]	148 [5%]	▲40	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同期は新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークの浸透により、WEB会議目的等での需要の急増があった。これによる反動減
その他	265 [9%]	173 [6%]	▲92	<ul style="list-style-type: none"> ・一部製品の半導体調達難による製品の供給不足に加え、前年同期にAM7、ZDM-1PMPの新製品効果があったことによる反動減
Mogar取扱いブランド	162 [6%]	191 [7%]	28	<ul style="list-style-type: none"> ・南ヨーロッパにおいてコロナ禍での経済活動の正常化が進んだことにより需要が回復
フックアップ取扱いブランド	- [-]	839 [31%]	839	<ul style="list-style-type: none"> ・前第2四半期連結会計期間よりフックアップの損益計算書を連結 ・フックアップの決算日変更により6ヶ月分の売上を取込み
合計	2,829	2,795	▲33	

半導体調達難による製品供給不足によりほぼすべての地域において売上減少

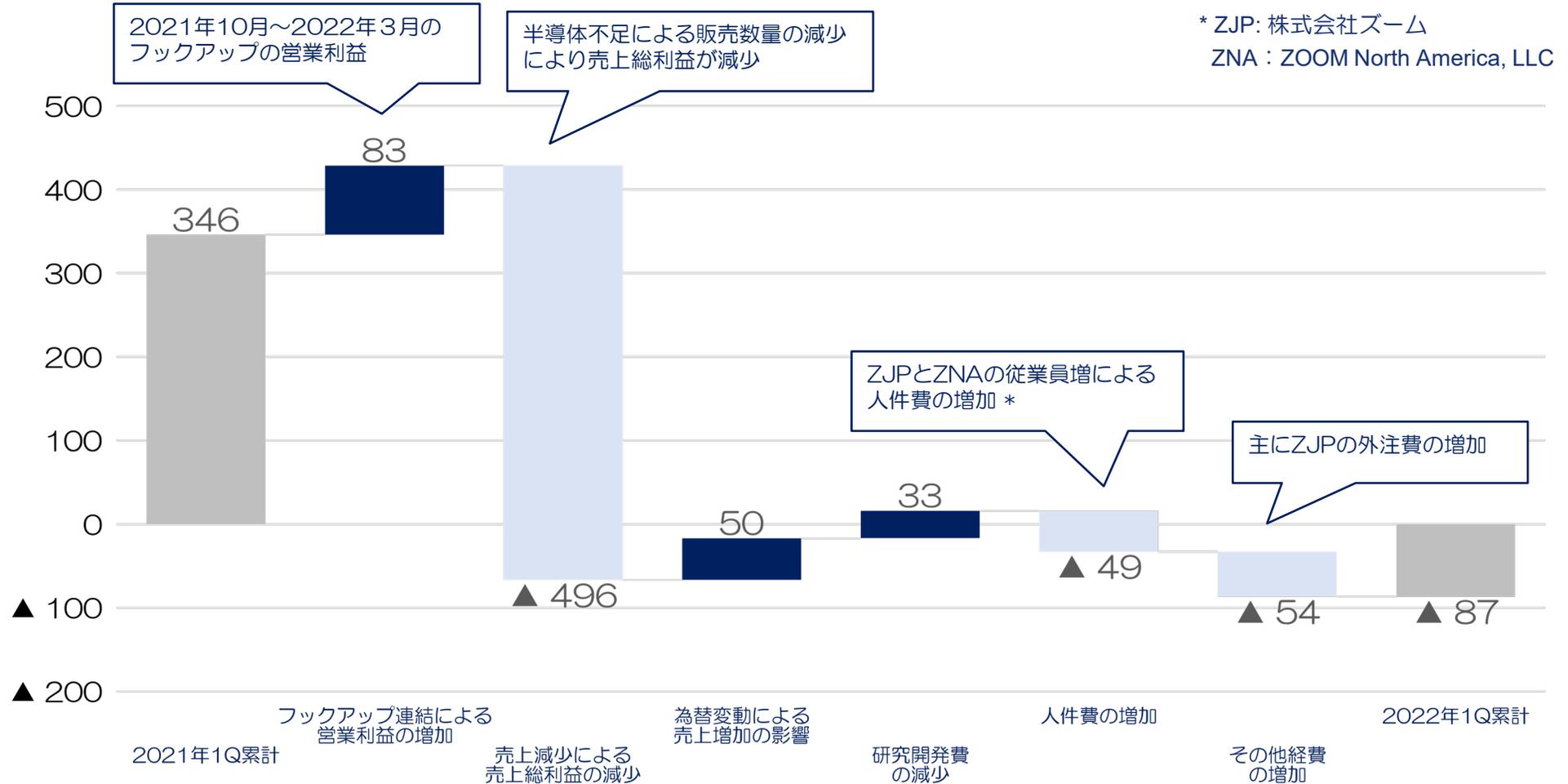
(百万円)

	2020.12期 1Q実績[シェア]	2021.12期 1Q実績[シェア]	増減額	売上高の増減要因
日本	239 [9%]	1,026 [37%]	787	<ul style="list-style-type: none"> ・フックアップの決算日変更により6ヶ月分の売上を取込み（839百万円） ・製品供給不足のほか、HVR等一部製品に前年同期需要増の反動減
北米	999 [35%]	800 [29%]	▲198	<ul style="list-style-type: none"> ・販売代理店の在庫調整による出荷の減少 ・半導体調達難による製品の供給不足により主にHAR、DMXの売上が減少
南ヨーロッパ※1	472 [17%]	470 [17%]	▲2	<ul style="list-style-type: none"> ・HARの需要の低下と新製品の供給不足により売上が減少 ・Mogar取り扱いブランドは南欧の経済活動の正常化により需要が回復
中央ヨーロッパ※2	555 [20%]	153 [5%]	▲401	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同期に主にHARの受注残の大量出荷があったことによる反動減 ・販売代理店のHARの在庫調整による出荷の減少
U.A.E.	39 [1%]	36 [1%]	▲3	
その他	522 [18%]	307 [11%]	▲214	<ul style="list-style-type: none"> ・中国▲50百万円：販売代理店の在庫調整により出荷減少 ・その他：スウェーデン▲29百万円、韓国▲25百万円
合計	2,829	2,795	▲33	

※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

営業利益の増減分析 (百万円)



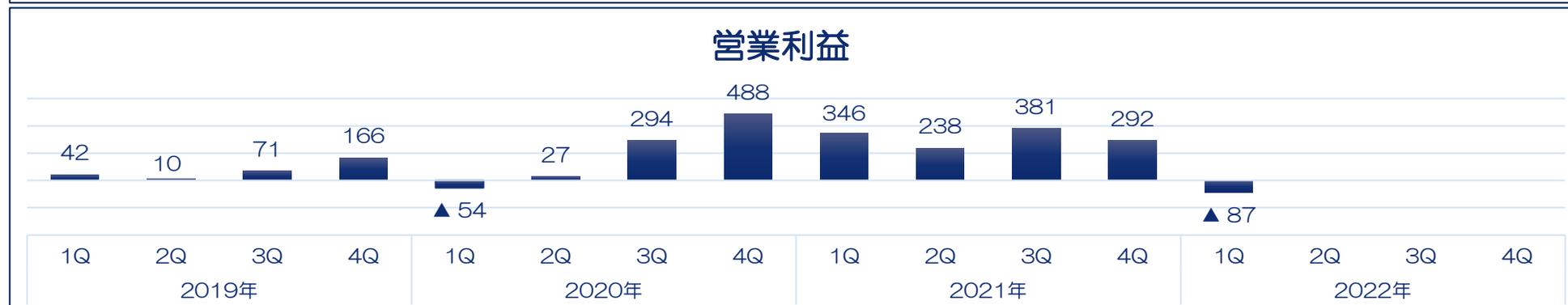
2022年12月期 第1四半期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

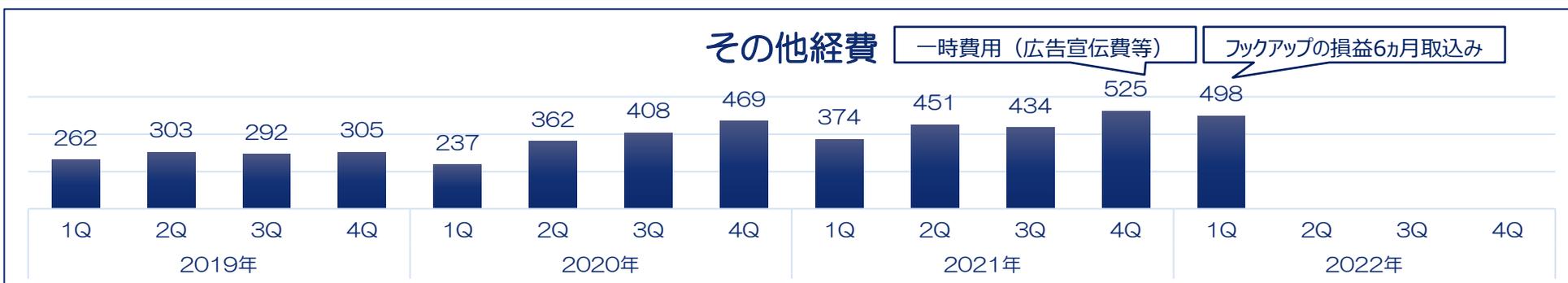
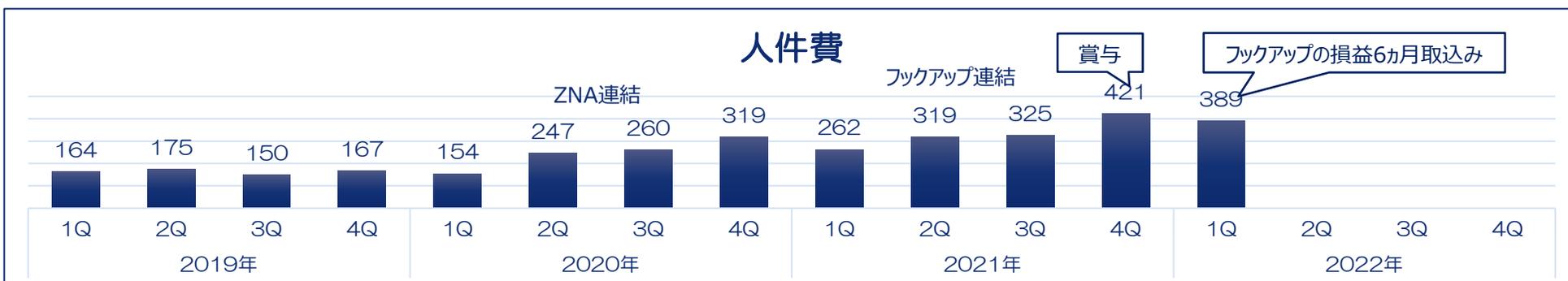
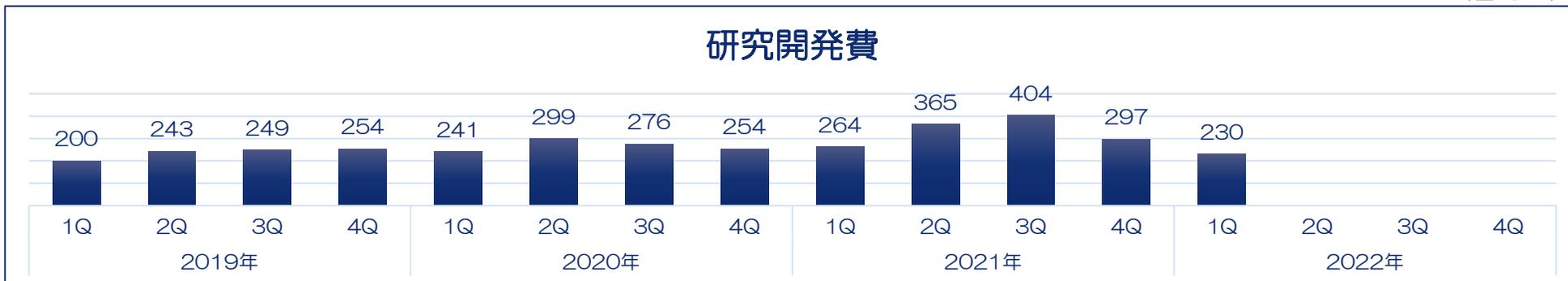
	21.12期末	22.12期 第1Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	8,035	8,497	462	
現預金	2,067	1,900	▲166	配当の支払218百万円
売掛金及び契約資産	1,950	1,286	▲663	売上減少：前期4Qは3,653百万円、当期1Qは2,795百万円
商品及び製品	2,963	3,190	227	物流のリードタイム増加
原材料及び貯蔵品	115	1,107	951	収益認識基準適用により、新たに有償支給品の在庫額を認識（877百万円）
固定資産	2,794	2,864	69	
有形固定資産	548	540	▲7	
無形固定資産	1,476	1,502	26	のれん+30百万円（円安による増加）
投資その他の資産	769	820	51	繰延税金資産+57百万円
資産合計	10,829	11,361	531	
流動負債	3,675	4,293	618	収益認識基準の適用により、新たに有償支給に係る負債を流動負債（その他）に計上（877百万円）
買掛金	1,000	773	▲227	生産委託先からの仕入減少
短期借入金	1,346	1,604	257	運転資金の調達等により増加
固定負債	1,242	1,209	▲32	
負債合計	4,917	5,503	585	
資本金	212	212	—	
純資産合計	5,911	5,858	▲53	
負債純資産合計	10,829	11,361	531	

(百万円)



半導体調達難による製品供給不足により販売数量が大幅減

(百万円)



フックアップの損益を6ヶ月分取込み、前年同期比で人件費及びその他経費が増加

半導体不足による製品の供給不足により減収及び減益を予想

- 2022年上期は半導体の供給不足により必要数量の7-8割の生産にとどまる見込み
- 2022年下期は回復を見込むも2022年度末に受注残を解消しきれないと予想
- フックアップは決算日変更により15ヶ月分の損益を取込み（2021年12月期は9ヶ月分）

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
売上高	13,417	13,000	▲417	▲3.1%	2,795	22%
営業利益	1,258	700	▲558	▲44.4%	▲87	-
経常利益	1,216	650	▲566	▲46.6%	▲57	-
親会社株主に帰属する当期純利益	854	400	▲454	▲53.2%	▲60	-
EBITDA	1,666	1,110	▲556	▲33.4%	15	1%

一株当たり当期純利益	199.56円	92.87円	▲106.69円	▲53.5%
一株配当	102円 (分割考慮後 51円)	50円	—	—
配当性向	25.6%	53.8%	—	—
為替レート (円/米ドル)	109.8円	108.0円	—	—

※ 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
 一株当たり当期純利益は、分割後の株式数で記載。
 一株配当は、21.12期は分割前、22.12期は分割後で記載。

※ 為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約27百万円減少（増加）

円安傾向は業績にはプラスであるが半導体不足の解消状況は不透明であり業績予想は変更せず

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,933	3,884	▲1,049	▲21.3%	678	17%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	2,203	2,013	▲190	▲8.6%	285	14%
マルチエフェクター (MFX)	1,289	1,123	▲166	▲12.9%	246	22%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	968	1,231	+262	+27.1%	232	19%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	819	635	▲183	▲22.3%	148	23%
その他	1,278	1,361	+83	+6.5%	173	13%
Mogar取扱いブランド	827	808	▲18	▲2.2%	191	24%
フックアップ取扱いブランド	1,098	1,942	+844	+76.9%	839	43%
合計	13,417	13,000	▲417	▲3.1%	2,795	22%